

8 置換積分

合成関数の微分を逆にたどる。不定積分でも定積分でも計算のやり方は同じなので、定積分で公式を示しておく。

定理 8.1 関数 $t(x)$ が微分可能で、 $t(c) = a < t(d) = b$ とするとき、連続な関数 $f(t)$ に対して、

$$\int_a^b f(t) dt = \int_c^d f(t(x)) t'(x) dx$$

証明 $F(t)$ を $f(t)$ の原始関数とすると、 $h(x) = F(t(x))$ を微分すると、

$$h'(x) = F'(t(x)) t'(x) = f(t(x)) t'(x)$$

だから、これを x について c から d まで積分すると、

$$h(c) - h(d) = \int_c^d f(t(x)) t'(x) dx$$

であるが、左辺は $F(t(d)) - F(t(c)) = F(b) - F(a)$ と等しいので、定積分で書いて、

$$F(b) - F(a) = \int_a^b f(t) dt = \int_c^d f(t(x)) t'(x) dx$$

が成り立つ。□

計算のやりかた普通は左辺の計算にうまい変数の取り換え $t = t(x)$ をつかって

$$f(t) dt = f(t) \frac{dt}{dx} dx$$

と形式的に書いておいて、 $t = t(x)$ を代入する。あとはこれを x について積分すれば良い。

例 8.1

$$\int_0^1 e^{3x+2} dx$$

を計算する。 $u = 3x + 2$ とすると、この式を u で微分して $1 = 3dx/du$ である。また、 x が 0 から 1 まで動くとき u は 2 から 5 まで動き、

$$\begin{aligned} \int_0^1 e^{3x+2} dx &= \int_2^5 e^u \frac{dx}{du} du = \frac{1}{3} \int_2^5 e^u du \\ &= \frac{1}{3} [e^u]_2^5 = \frac{e^5 - e^2}{3} \end{aligned}$$

逆に、右側の式が見えている場合がある、

例 8.2

$$\int_0^1 \frac{2x+1}{x^2+x+1} dx$$

を計算する。 $t(x) = x^2 + x + 1$ とおくと、 $t'(x) = 2x + 1$ だから、

$$\int_0^1 \frac{2x+1}{x^2+x+1} dx = \int_0^1 \frac{t'(x)}{t(x)} dx$$

$t(0) = 1, t(1) = 3$ だから、 $f(t) = 1/t$ に対して上の公式が使えて、

$$\int_0^1 \frac{2x+1}{x^2+x+1} dx = \int_1^3 \frac{1}{t} dt = \log 3$$

と計算できる。

例 8.3 (教科書 p.124, 例題 4.4) これは不定積分の場合の例

(1)

$$\begin{aligned} \int \frac{\log x}{x} dx &= \int t \frac{dt}{dx} dx \quad (t = \log x \text{ と変数変換}) \\ &= \int \frac{1}{t} dt = \frac{t^2}{2} + C \\ &= \frac{1}{2} (\log x)^2 + C \end{aligned}$$

(2)

$$\int \frac{x^2}{(2x-1)^2} dx$$

を計算する。 $t = (2x - 1)$ とおくと、 $x = (t + 1)/2$ なので $dx/dt = 1/2$ だから、

$$\begin{aligned} \int \frac{x^2}{(2x-1)^2} dx &= \int \frac{(t+1)^2}{4t^2} \frac{dx}{dt} dt \\ &= \frac{1}{8} \int \left(1 + \frac{2}{t} + \frac{1}{t^2} \right) dt \\ &= \frac{1}{8} \left(t + 2 \log |t| - \frac{1}{t} \right) + C \\ &= \frac{1}{8} \left((2x-1) + 2 \log |2x-1| - \frac{1}{2x-1} \right) + C \end{aligned}$$

例 8.4 (教科書 p.127 例題 4.7, (2))

$$\int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx$$

を求める。 $x = \tan t$ とおく。 $\tan 0 = 0, \tan \frac{\pi}{4} = 1$ なので、

$$\frac{dx}{dt} = (\tan t)' = \frac{1}{\cos^2 t}$$

だから、

$$\int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx = \int_0^{\pi/4} \frac{1}{1+\tan^2 t} \frac{dx}{dt} dt = \int_0^{\pi/4} \cos^2 t \frac{1}{\cos^2 t} dt = \frac{\pi}{4}$$

例 8.5 (部分分数展開)

$$\int_0^1 \frac{1}{(1+x)(1+x^2)} dx$$

を求めてみる。

$$\frac{1}{(1+x)(1+x^2)} = \frac{a}{1+x} + \frac{bx+c}{1+x^2}$$

となる a, b, c をもとめると、右辺を通分して

$$\frac{a}{1+x} + \frac{bx+c}{1+x^2} = \frac{a(1+x^2) + (1+x)(bx+c)}{(1+x)(1+x^2)} = \frac{(a+c) + (b+c)x + (a+b)x^2}{(1+x)(1+x^2)}$$

右辺と $1/(1+x)(1+x^2)$ が等しいのだから係数を比較して

$$a = 1 - c, \quad b = -c, \quad a = -b$$

これを解いて $a = c = 1/2, b = -1/2$ となるので、

$$\frac{1}{(1+x)(1+x^2)} = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{1+x} + \frac{1-x}{1+x^2} \right)$$

ところで、

$$\int_0^1 \frac{1}{1+x} dx = [\log|1+x|]_0^1 = \log 2$$

また、

$$\begin{aligned} \int_0^1 \frac{1-x}{1+x^2} dx &= \int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx - \int_0^1 \frac{x}{1+x^2} dx \\ &= \int_0^{\pi/4} \frac{1}{1+\tan^2 t} \cdot \frac{1}{\cos^2 t} dt - \frac{1}{2} \int_1^2 \frac{1}{t} dt \end{aligned}$$

右辺第一式では $x = \tan t$ と置換積分して、第2項では $t = 1+x^2$ ($\frac{dt}{dx} = 2x$) と置換積分している。ゆえに、

$$\int_0^1 \frac{1-x}{1+x^2} dx = \frac{\pi}{4} - \frac{1}{2} \log 2$$

となり、

$$\frac{1}{(1+x)(1+x^2)} = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{2} \log 2 + \frac{\pi}{4} \right)$$

例 8.6 (三角関数の積分の必殺技) $\tan(x/2) = 1$ とおく。例えば、

$$\int_0^{\pi/2} \frac{1}{1+\sin x} dx$$

を計算するとき、 $\tan(x/2) = t$ とおくと、 $0 \leq t \leq 1$ で、

$$\sin x = 2 \sin(x/2) \cos(x/2) = 2t \cos^2(x/2) = \frac{2t}{1+t^2}$$

および、 $\tan(x/2) = t$ の両辺を t で微分して、

$$\frac{1}{2} \frac{1}{\cos^2(x/2)} \cdot \frac{dx}{dt} = 1$$

ここで、

$$\frac{1}{\cos^2(x/2)} = 1+t^2$$

に注意すると、

$$\frac{dx}{dt} = \frac{2}{1+t^2}$$

がわかり、

$$\begin{aligned} \int_0^{\pi/2} \frac{1}{1+\sin x} dx &= \int_0^1 \frac{1}{1+\frac{2t}{1+t^2}} \frac{dx}{dt} dt \\ &= \int_0^1 \frac{1+t^2}{1+t^2+2t} \cdot \frac{2}{1+t^2} dt \\ &= 2 \int_0^1 \frac{1}{(1+t)^2} dt \\ &= 2 \left[-\frac{1}{1+t} \right]_0^1 \\ &= 2 \left(1 - \frac{1}{2} \right) = 1 \end{aligned}$$

この計算は逆三角関数を知っていると便利だが、やや範囲外になる。

練習 8.1 () 内の置換によって次の不定積分を計算せよ

$$(1) \int (3x+1)^{10} dx \quad [t = 3x+1]$$

$$(2) \int \sin^4 x \cos x dx \quad [t = \sin x]$$

$$(3) \int x e^{-x^2} dx \quad [t = e^{-x^2}]$$

$$(4) \int \frac{x}{\sqrt{2-x^2}} dx \quad [t = 2-x^2]$$

練習 8.2 次の不定積分を求めよ

$$(1) \int \sin x e^{\cos x} dx$$

$$(2) \int x \sqrt{x-2} dx$$